

# 断じて許さない！ 広域配転=革マル分子送り込み

## 日刊 動労千葉

86. 4. 5

No. 2208

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二七二〇七

### 当局の手先をまとめて、百数十名の千葉局送り込み！ 動労千葉・国労解体攻撃を策動

国鉄当局は、三月二十日から募集を開始した広域配転希望者が、三月三十一日段階で千名を突破したと発表、近々にも各地区へ要員を送りこみ、「分割・民営化」の既成事実づくりを推し進めるとともに、動労革マルのさらなる全面協力のもと、第一陣・三四〇〇名の「目標達成」―差別・選別―国鉄労働運動の分断・解体へと、大きくふみ出して来た。断じて許すな！

九九%が動労「本部」革マルとその同調者

当局の発表によれば、応募者は、北海道八三七人、九州一六七人の総計一〇〇〇八人で、希望先は、東京八四一人、名古屋八人、大阪一五五人と圧倒的に東京地区が多く、組合側は、動労「本部」が九百二十人、国労七二人、鉄労三人、他九人。系統別では運転が九二九人と圧倒的で、ほぼ一〇〇%動労「本部」で占られている。自からが生き残るためには、当局に魂をうりわたし、他の労働者をけおとしてもよいという、卑劣な姿がありありだ。こんな輩を許せるか！

「首都圏の戦場的職場の解体」のための革マル分子送り込み

千葉局には、百〜百五十名が送り込まれ、そのほぼ全部が運転関係―動労革マルと言われている。

しかも配属は千葉転・津田沼とまで言われている。まさに、敵の狙いは明らかである。動労千葉の拠点である、津田沼・千葉転の破壊―動労千葉の戦闘力を叩きつぶす所にある。すでに、津田沼電車区では、受け入れを前提に、待機場所の確保の準備が進められており、一方で、玉つきのに過員とされる、動労千葉・国労組合員の対策として又ぞろ要員センターの拡大等が画策されるなど、攻撃は具

体的レベルへと進んでいる。

選別と労働運動解体をもって「分割・民営化」の既成事実をつくり上げようとする攻撃を許すな！この先兵、動労革マルを断じて許すな！

当局の手先―首切り執行人―  
広域配転者を断じて許さない！

動労革マルは、自からが生き残るために、奴隷の道を選択した。だが、広域配転―「分割・民営化」に労働者の未来などない。

他の労働者を受け渡し、永年の生活を棄てて得る代償は、「赤字必至」の新会社であらゆる権利を剥奪され、合理化強行と事故におびえながら働くしかないのだ。

当局はすでに、「スト権を与えてもストをやれない労働組合にする」と豪語している。まさに、動労革マル・松崎は、自からの組合員も含め、全国鉄労働者を奴隷の道へと引きづりこもうとしている。これが許せるか！広域配転阻止・関連法案阻止へ向け、怒りをこめ全力で闘おう。

#### 4・12「映画と講演」DAY

時 4月12日（土）午後6時から8時40分まで  
所 千葉市民会館・大ホール  
映画 動労千葉ストライキ記録映画  
講演 「イギリス炭坑ストライキ」三六〇日の教訓  
講師 増田 寿男（山政大学教授）